

マタイ 18

# 神の御心を 聞き取るために

マタイ福音書8章1～4節    メシアの奇跡①    ツアラアトの癒やし

Shikaoichurch.com

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. ツアラアトとは？ 7:13～14

II. ツアラアト患者の癒し 8:1～4

### III. まとめと適用

主の御心に用いられ

遣わされるために







# 0. イントロダクション

ガリラヤ湖・山上の説教の丘



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪  
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム  
~ヤコブ

出エジプト  
~王国時代  
~メシア初臨

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

ディスペンセーション  
8つの契約と  
7つの時代区分

過去

現在

未来

# メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる  
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



# 急拡大していったメシアによる宣教

## ■ マタイ福音書4:23～25

イエスはガリラヤ全域を巡って会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病、あらゆるわずらいを癒やされた。

イエスの評判はシリア全域に広まった。それで人々は様々な病や痛みに苦しむ人、悪霊につかれた人、てんかんの人、中風の人など病人たちをみな、みもとに連れて来た。イエスは彼らを癒やされた。

こうして大勢の群衆が、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、およびヨルダンの川向こうから来て、イエスに従った。

## 5～7章 山上の説教の結論

### ■ マタイ7:28～29

イエスがこれらのことばを語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。イエスが、彼らの律法学者たちのようにではなく、**権威ある者**として教えられたからである。」

■ **わたしは主**であると、イエスは**神の権威**をもって教えられた。

■ **教え**をもって、メシアの証明をなされたイエスは、**奇跡**をもって、メシアの証明をされていく。

➔ 最初のメシア的奇跡が、「ツァラアトの癒やし」





# 1. ツアラアトとは？



## ツアラアトとは？

■ 語源：ツアラアト(ヘブル語)、ギリシャ語ではレプロス。

■ 訳語の問題：「らい病」と訳されていたが…

①病名として不適切

②らい病患者への差別の歴史

■ 聖書の定義：皮膚の下にまで達した重度の皮膚病。

「雪のようになっていた(出4:6)」

衣服、織物、革製品、家にも(カビ?!)

## 聖書におけるツァラアト

- モーセの召命時の神の奇跡。片手がツァラアトに(出4:6)
- 律法に詳述。ミリアムが神の罰でツァラアトに(民12:10)
- アラムの将軍ナアマンの癒やし(Ⅱ列5:1)
- アラム軍の敗退を告げた4人のツァラアト患者(Ⅱ列7:3)
- ユダの王アザルヤ(Ⅱ列15:5)、ウジヤ王が感染(26:19)
- メシアによる癒やし(マタイ8:1、ルカ17:12他)



## ツアラアトの不思議

- 律法の時代にしか記載がない。
  - ➔ 族長時代以前にも、ペンテコステ以降にも、ない!!
- 律法に詳述も、イスラエルに治癒のケースがない!!
  - 例外で、神がミリアムを罰し、癒やしたただけ。
- 唯一癒やされたのは、異邦人のアラムの将軍ナアマン。

## 「メシア的癒やし」 ツアラアトの癒やし

- 「ツアラアトを癒やす奇跡は、メシアだけが行える」
  - ➔ パリサイ派、律法学者の主張。聖書的に正しい。
- 主が、ツアラアトという病と癒やしを**律法**に記された。  
主であるメシアご自身が、**律法**通り、ツアラアトを癒やされる。
- **律法の完成者**、すなわち**メシア**として、  
イエスは、ツアラアトを癒やされる





## II. ツアラアト患者の癒やし

マタイ福音書 8章1～4節

ガリラヤ湖畔

## ワンポイント➡ 構成に注目!!

■「起承転結」というと

- ①起 …背景
- ②承 …導入
- ③転 …クライマックス
- ④結 …オチ、結果

■よく言われる文章の構成だが、実はなかなか難しい。

➡この8章14節は、みごとな起承転結に!!



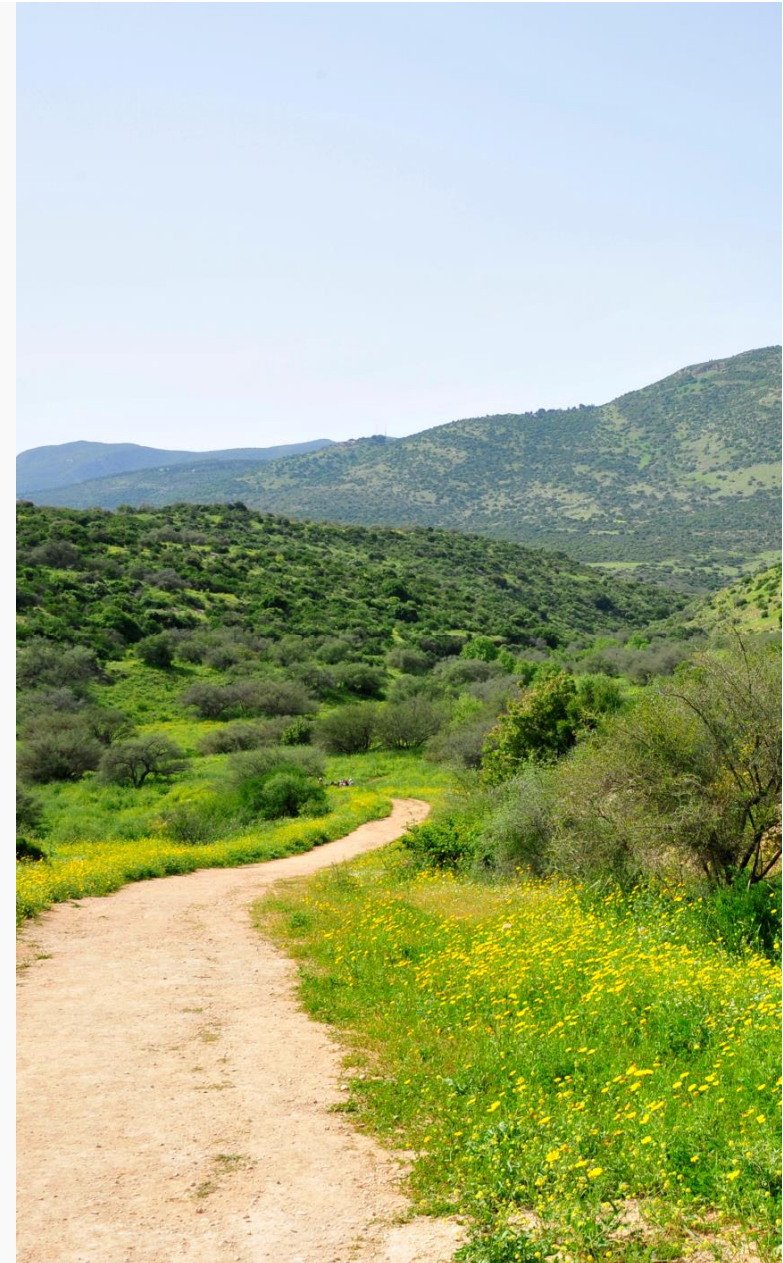
## 起 ふもとで マタイ8:1

イエスが山から下りて来られると\*、大勢の群衆\*がイエスに従った。

\*山上の説教の「山」から下りてくると…

\*マタイでは、有象無象の烏合の衆。

➡都に入城するメシアを大歓迎したのも、  
「十字架につける」と叫んだのも、群衆。

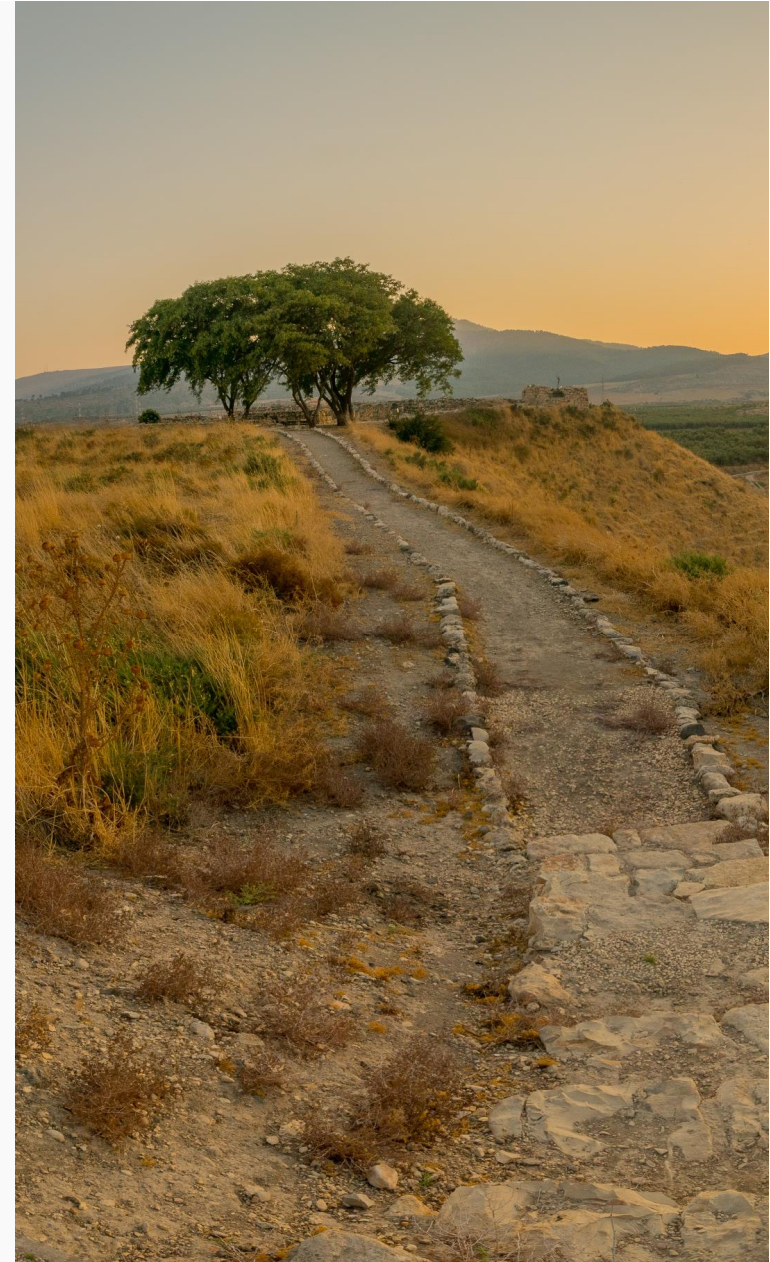


## 承 ツアラアト患者の願い マタイ8:2

すると見よ。ツアラアトに冒された人が  
みもとに来て、イエスに向かってひれ伏し、  
「主よ、お心一つで私をきよくすることがお  
できになります\*」と言った。

\*「もし、あなたが願われるなら、  
あなたは私をきよめられます」

- 神の意志に沿った願いはすべて叶えられる。  
→ 祈りの基本だが、揺らぎやすいもの
- この人は、真の信仰者だと分かる。





## 転 ツアラアトのきよめ マタイ8:3

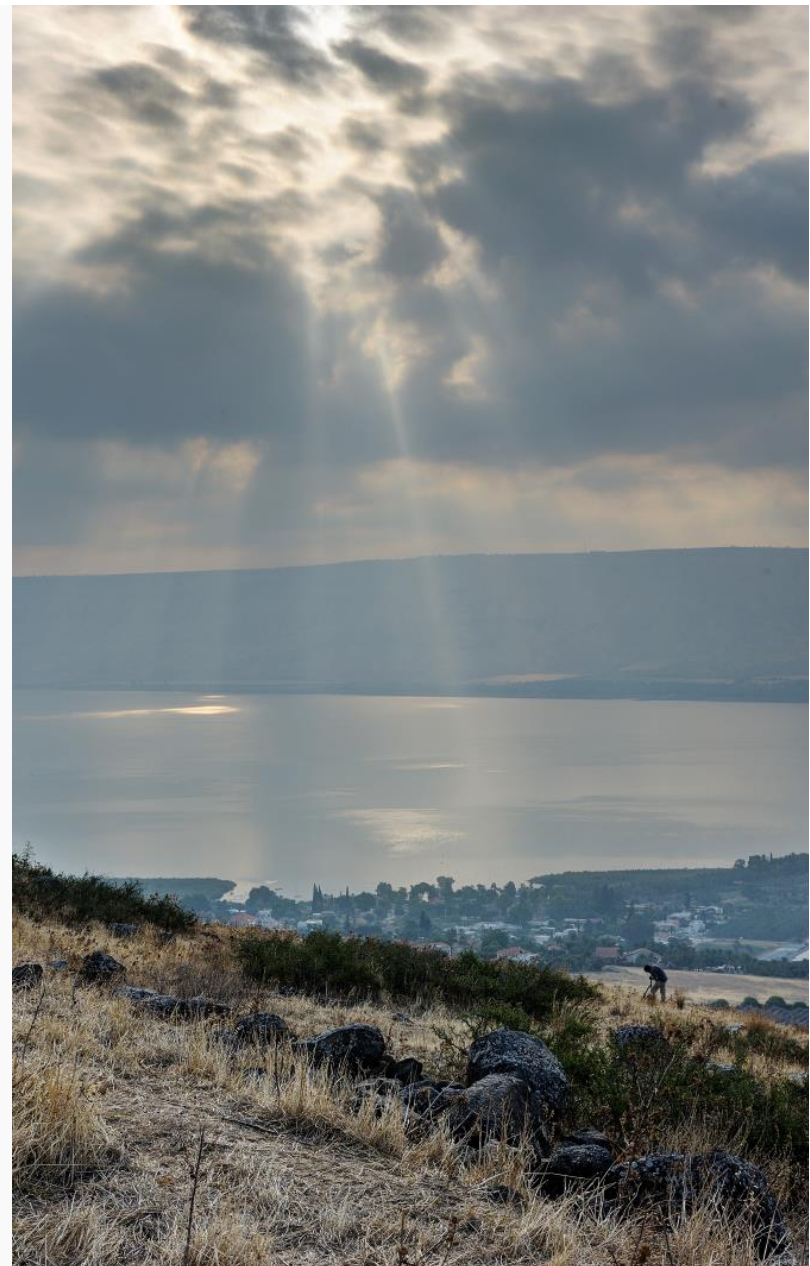
イエスは手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。すると、すぐに彼のツアラアトはきよめられた。

■ この人の願いは、主の願いと一致。

➔ 主のことばと共に、即、癒やされた

■ 1300年間、起きなかった癒やしが、メシアによって実現された。

**明確なメシア的癒しが実現**



## 結 主イエスの命令 マタイ8:4

イエスは彼に言われた。「だれにも話さないように\*気をつけなさい。ただ行って自分を祭司に見せなさい。そして、人々への証しのために、モーセが命じたささげ物をしなさい。」

\*この時点では禁じられた。が(マルコ1章)

- イエスが求めたのは、**律法**の遵守のみ。
- イエスは、**律法**を正しく解き明かし、**律法**の癒しを実現し、**律法**を遵守された。  
➔これだけでメシアと判断するに十分







### Ⅲ. まとめと適用

主の御心に用いられ、遣わされるために

ガリラヤ湖の夕景



## 律法の完成者であるメシア

■ 律法で詳述される、ツアラアト(民数記13~14章)

…具体的な症状、祭司による判断、治癒後の措置まで

■ しかし、1,300年間、一度も適用されなかった。

■ 律法を正しく解き明かされたイエスが、

律法が定めるツアラアトの癒しを実現された。

**イエスこそ、律法が示すメシアであり、律法の完成者である**

## ツアラアトの癒やしと、神の時

- 「お心ならば」と願ったツアラアト患者。
  - ➔ 主の御心と一致していたがゆえに、即、癒やされた。
- 律法時代最後のメシアの公生涯以降、ツアラアトの癒しはない。
  - ➔ ツアラアトの癒しは、メシアの証明のために必須だった
- ツアラアト患者は、神の時であったがゆえに、癒やされた。

## 癒しと、神の時を理解しておこう

■ 聖霊の賜物に「癒やし」がある(1コリ12:9)が、

➔ 誰でもいつでも癒やせるというものではない

➔ 神の時、神の意志と一致していなければ癒しは起きない

■ 聖書的癒やし・奇跡は、第一に神の権威の証明のため

➔ 重要なのは癒やしそのものではない

癒やしによって、使徒の語る言葉の内容が証明されること。

■ 啓示が確定された今、使徒時代と同じ意味での癒しはない。



## 聖書的奇跡についても確認しておこう

■ 聖書における奇跡とは、神の直接的介入を示す超自然的出来事。

■ 最も頻繁に奇跡が起こったのは、四つの時代。

- ① 律法が成就されたモーセ～約束の地に入るヨシュアの時代
- ② イスラエルが**律法**を破った南北時代
- ③ **律法**の成就であるメシアの公生涯
- ④ 教会の黎明期 (**キリストの愛の律法**が完成するまで)

■ 奇跡もまた、神の御言葉の権威の証明のために起こされる。

➔ 今の時代にはやはり、聖書時代と同じ意味の奇跡はない

## 主の御心とは？

■ 主の御心でないのに叶えられる場合がある

例) 王を求めたが時期尚早だったイスラエル。サウルの失敗。

■ 主の御心を知るために必要なこと

① 神の時を知る …今の教会時代の原則は？

② 聖書の原則に則る …聖書が求めていることは？

③ 状況から聞き取る …直面している現実に向き合おう!!

■ 完全に聞き取れることなどない。

➔ 示された、と感じ取ったなら、思い切って踏み出そう!!

## ★ 主の御心に用いられ、遣わされるために ★

■ あのツアラアト患者は、イエスをメシアと信じて**実行**した。  
結果、神の時と一致して、驚くべき癒しの生き証人となった。

■ 今の教会時代、誰に対しても示された主の**明確な御心**がある。  
福音を告げ、主イエスを証していくこと。

■ **明確な御心**に従って歩んで行けば、曖昧に見える状況での、  
個人的な御心も、受け取っていけるように成長させられていく。

**主の御心に用いられ、遣わされるために、力を尽くそう!!**



てん とう  
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。  
ひび おか つみ こくはく つみ  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③三日目に復活されたことを、信じます。

しゅ りっぽう かんぜん じょうじゅ  
主イエスは、律法を完全に成就されました。

しと とお わたし したが おし めいかく しる  
使徒たちを通して、私たちの従うべき教えを明確に記されました。

ふくいん つ しゅ あか みたま たす  
福音を告げ、主イエスを証しします。御霊によって助けてください。

ひび みこころ い みこころ あゆ もの わたし つか  
日々、御心に生き、御心に歩む者として、私を遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」